



序 “誇りある緑” を

昨今、各地で異常気象による自然災害が猛威を振るい甚大な被害が発生しています。その主な原因は地球温暖化の影響だといわれ、二酸化炭素（CO₂）の削減が全世界の課題となっています。

平成 22 年、当愛知県で「生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）」が開催されました。生物多様性が議題となり森や林、ため池、里山の保全が提唱されました。そこに存在する水や緑、動物、昆虫、魚介類等を保護して守ることを、安全で安心できるクリーンな未来を分かち合うことの出発点として位置づけています。

西尾市においても平成 17 年度に「西尾市環境基本計画」を策定し、「まちの緑の保全」や「里山保全活動」をはじめとする 8 つのプロジェクトを掲げるなど、市民に「緑」の重要性を呼びかけています。「緑」に触れることで人は安らぎと潤いを覚え、心が癒されることでしょう。

平成 18 年度に着手した「名木選定」は、委員 19 名（故人 2 名）の努力により念願の“名木”の発掘に至りました。これらの樹木は長い歳月にわたり自然災害や風雪に耐えてきました。100 年、200 年と西尾の歴史と人々の暮らしをつぶさに見守り、黙々と時には毅然として生きて来た『誇り高き樹木たち』です。

私たちは、これらの“誇りある緑”を大切にし、自然の遺産として次世代に引き継がなければなりません。それは美しい地球を守ることであり、人々の心を温かくすることにつながります。

最後に、名木の所有者の方々や町内会長の皆様をはじめとすご協力をいただいた多くの方に心からお礼を申し上げます。

平成 23 年 3 月

西尾市名木選定委員会委員長 青 山 通 義